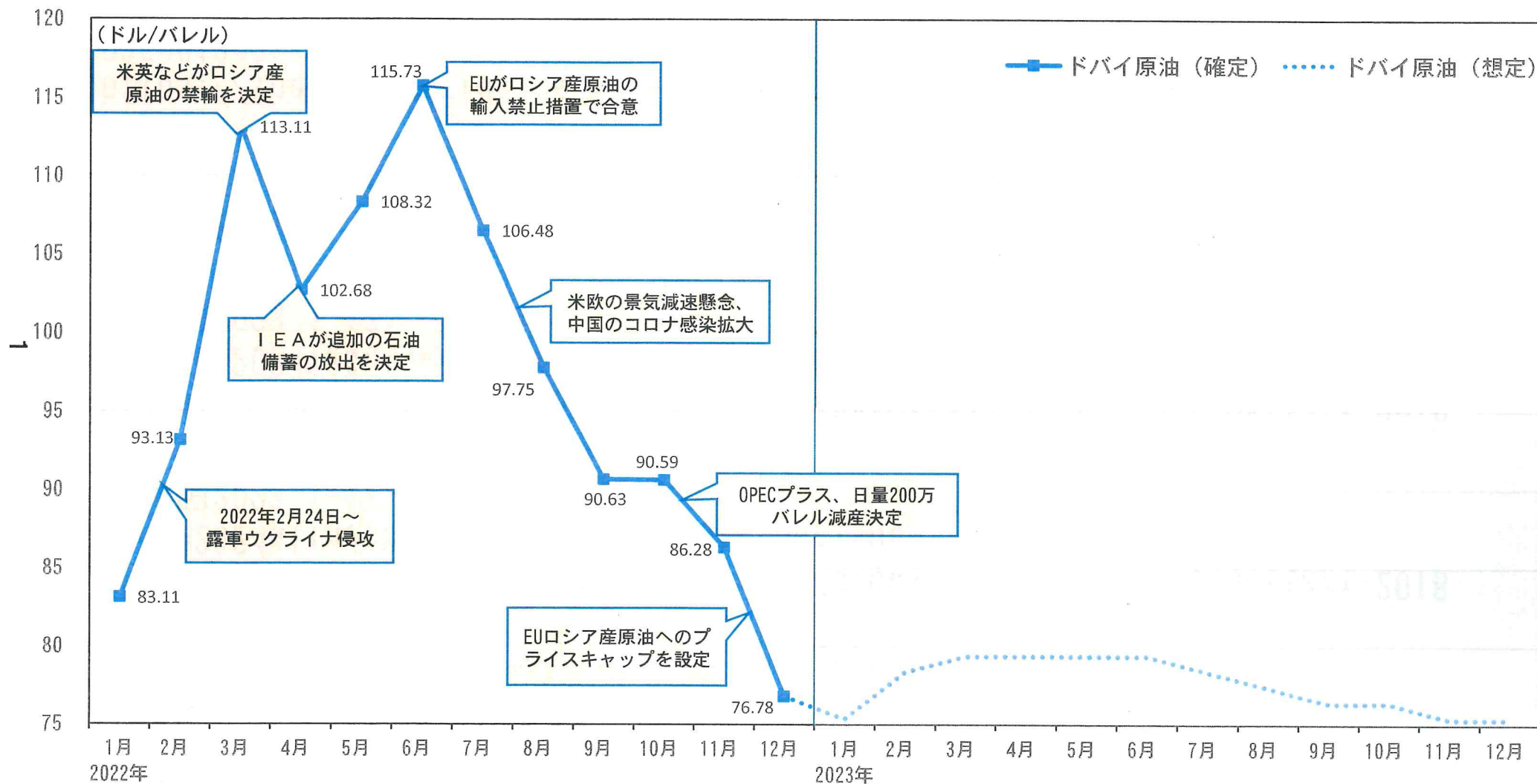


今後の原油価格見通し

参考資料1
令和5年1月23日

- 米国エネルギー情報局 (EIA) や世界銀行は、2023年のブレント・WTI原油価格を1バレル当たり70ドル半ば～90ドル半ば、2024年を70ドル～80ドル前後と予想している。そのため日本が輸入する中東産原油価格も過去の事例からして同様に推移すると思われる。



※米国エネルギー情報局 (EIA)、世界銀行を基に日貨協連作成



日本貨物運送協同組合連合会

参考元

①米国エネルギー情報局 (EIA).

“SHORT-TERM ENERGY OUTLOOK”. STEO Data browser. 2023-1,

<https://www.eia.gov/outlooks/steo/data/browser/#/?v=8&f=A&s=0&start=2018&end=2024&linechart=WTIPUUS&maptype=0&ctype=linechart>

(参照2023. 1. 17)

<https://www.eia.gov/outlooks/steo/data/browser/#/?v=8&f=M&s=0&start=201801&end=202412&ctype=linechart&maptype=0&linechart=WTIPUUS>

(参照2023. 1. 17)

②世界銀行.

“Commodity Markets”. “Pink Sheet” Data Monthly prices. 2023-1,

<https://thedocs.worldbank.org/en/doc/5d903e848db1d1b83e0ec8f744e55570-0350012021/related/CMO-Historical-Data-Monthly.xlsx> (参照2023. 1. 17)

<https://openknowledge.worldbank.org/bitstream/handle/10986/38160/CMO-October-2022.pdf> (参照2022. 12. 15)



燃料価格調査事業

- 毎月調査対象の全国約130組合に「燃料価格状況調査票」を毎月配布し、協同組合が取り扱う燃料価格について継続的に調査を実施している。
- 調査結果は、取引種別、地域別、分布状況などにとりまとめて調査対象組合に還元するとともに、日貨協連をはじめ各地域における燃料価格交渉の際の参考資料として有効に活用されている。

